

新型コロナウイルス感染症の患者が発生した場合の消毒方法

大分県東部保健所

当資料は、新型コロナウイルス感染症と確定した場合の消毒を想定し作成しています。

新型コロナウイルス感染症と確定した場合には、保健所の指導の下、家屋または施設の管理者に消毒を実施していただきますので、下記方法を参考にしてください。

新型コロナウイルス感染症の感染経路

新型コロナウイルス感染症の感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。

- 飛沫感染…感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染
- 接触感染…ウイルスが付着した手で目・口・鼻を触ることによる感染

消毒方法

■消毒を行う前の留意事項

- ・消毒を行う際には、部屋の換気を十分に行い、最低限、サージカルマスク、手袋、目の保護、ガウン（エプロン）をしたうえで行うことが望まれます。
- ・サージカルマスクや手袋を外す際には、それらにより環境を汚染しないよう留意しながら外し、所定の場所に廃棄します。さらに、手指消毒、手洗いを遵守し、消毒・手洗いの前に目や顔を触らないように注意します。
- ・スプレーボトル等での噴霧は、不完全な消毒やウイルスが舞い上がる可能性があるため避けてください。
- ・拭き取りは同一方向に進み、後戻らないようにします。
(1回拭き取る毎にペーパータオル等は廃棄して、使い回さないようにします)

■消毒方法

消毒はアルコールまたは0.05%の次亜塩素酸ナトリウムを用います。

家庭や職場	居間 食事部屋	ドアノブ、窓の取手、照明のスイッチ、ソファ、テーブル、椅子、電話機、コンピュータのキーボードとマウス、小児の玩具、床、壁など	アルコールまたは0.05%の次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等に十分にしみこませて拭き取る。 次亜塩素酸ナトリウムの場合、金属面などについては腐食を起すので10分程度経ったら、水を絞ったぞうきんなどで拭き取る。
	台所 トイレ	水道の蛇口、シャワーヘッド、浴槽、洗面器、ドアノブ、窓の取手、照明スイッチ、流水レバー、便座とフタ、汚物入れ、壁、床など	
	トイレ 洗面所	排水溝、便器	市販の家庭用洗剤を使用しすすいだ後に、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用消毒剤を使用。

職場・集合住宅	共用部分	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター・エスカレータ 呼出しボタン、停止階ボタン、 エスカレータの手摺り部分 階段の手すり 建物への出入り口 ドアノブやハンドル、セキュリティ対 応のオートロックボタンなど不特定の 人が触れる部分。 共用のトイレ、給水場所など 電話機など 	<p>アルコールまたは0.05%の次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等に十分にしみこませて拭き取る。</p> <p>次亜塩素酸ナトリウムの場合、金属面などについては腐食を起こすので10分程度経ったら、水を絞ったぞうきんなどで拭き取る。</p>
---------	------	--	--

消毒薬について

■消毒薬の特徴

分類	商品名	有効成分			留意点など
		手指	細菌	コロナウイルス	
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター ブリーチ ミルトン	×	○	○	酸性の薬剤と混ぜると有毒ガスが発生する 金属を腐食させるおそれがある 保管は冷暗所で行う
消毒用エタノール	ウエルバス イソジンパーム	○	○	○	臭気がある 即効性がある もっとも入手しやすい 反復使用すると肌荒れを起こしやすい 洗浄効果がないので、肉眼で見て汚れている場合はまず汚れを洗い流す

■次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いた消毒について

商品名（一例）

濃度	商品名（一例）
1%	ミルトン など
5～6%	ハイター、ブリーチ、ジアノック など
6%	ピューラックス、ピューラックスSなど

消毒液の作り方

原液の濃度に応じて希釈して使ってください。

$$\text{水に加える原液の量(ml)} = \frac{\text{作成する次亜塩素酸ナトリウム溶液の濃度(%)} \times \text{作りたい消毒液の量(ml)}}{\text{原液の濃度(%)}}$$

※500mlのペットボトルを活用して次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.05%)の消毒液を作成する場合の例

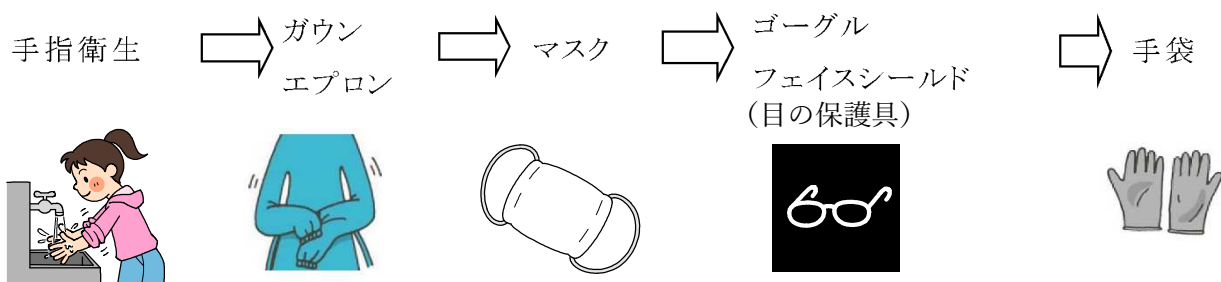
原液の濃度	原液の量	水
1%の場合	25ml（ペットボトルキャップ5杯）	500ml
6%の場合	5ml（ペットボトルキャップ1杯）	500ml
12%の場合	2ml（ペットボトルキャップ1/2杯以下）	500ml

注意事項

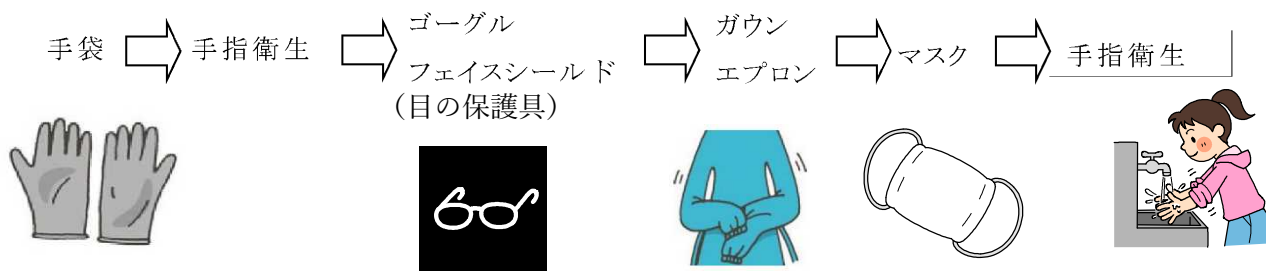
- ・手指の消毒には、使用しないでください。
- ・消毒するときは、十分に換気をしてください。
- ・希釈したものは時間が経つにつれて効果が減っていきます。その都度使いきるようにしましょう。
- ・保管する際は、危険なので子どもなどの手の届かないところに保管しましょう。
- ・ぞうきんは使い捨てとならないことから、汚染された場所を拭き取るには適さないので使用しないでください。

個人防護具の着用に関する注意事項

■個人防護具の装着の順番



■個人防護具を外す順番



手袋

◎手袋着用に関する注意事項

- ・使用後の汚染された手袋で周囲の物品等に触れない。
- ・手袋を外す時には、汚染面を素手で触れない。
- ・手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗う（補助的にアルコール消毒薬で手指消毒を行う）。

◎手袋の外し方



エプロン (ガウン)

◎エプロン (ガウン) に関する注意事項

- ・エプロンは使い捨てのビニール製のものを想定しています。
- ・外す時には、汚染面 (外側) を素手で触れない。

◎外し方 (エプロン)

①首の後ろのひもを切る	②前あてを前にた	③裾を手前に持ち上げ、汚染面を中に織り込んで、3つ折りに
		
端を持つか、裏から持ち上げ		
④腰の後ろのひもを切る	⑤汚染した表面を中にしてたたみ、縛って小さくまとめ、廃棄する	⑥脱いだあとは、手指衛生を行う
		

◎外し方 (ガウン)

①首の後ろのひもを解く	②腰の後ろのひもを解く	③一方の袖の内側へ手を滑り込ませる
		
④滑り込ませた手を袖口にかけて引き抜く	⑤引き抜いた袖の汚染面でもう片方の袖の汚染面を持ち汚染しないように手を	⑥袖の中に引き込んだ手でもう片方のガウンの袖を持ち、手を引き
		
⑦腕を引き抜く	⑧引き抜いた手を反対側のガウンの肩の内側へ入れる	⑨ガウンの内側に入れた手を滑らせて腕を抜く
		
⑩汚染面を内側にして丸める	⑪小さく丸めて廃棄する	⑫脱いだ後は、手指衛生を行う
		

マスク

◎マスク着用に関する注意事項

着用する際は、口と鼻をしっかりと覆う

◎外し方



- ・使った手袋やガウン（エプロン）等は、表面が汚染されているので触れないようにしてください。
- ・ゴミは密閉して廃棄してください。

引用

- ・新型コロナウイルス感染症に関する感染管理(2020.3.5)：国立感染症研究所
- ・新型コロナウイルスによる感染症疑いの方を家庭で看護するときには：東京都感染症情報センター
- ・家庭職場における消毒（例）3訂版：感染症情報センター
- ・感染対策マニュアル：北いわて医療関連感染制御ネットワーク（NICON）

